

和歌山大学生協 Campus life フェスティバル



[新学期]

取り組み概要

日時：3月28日(日)
場所：和歌山大学
参加者数や組合員の反応：約200名（新入生、保護者）

背景や概要：新入生と保護者の方に履修登録とPC・IT活用講座を体験してもらいました。また、先輩の体験談をもとに大学生生活を疑似体験してもらいました。

ひとりひとりに寄り添う丁寧な対応

POINT.1

4年間をイメージしてもらう



参加者の方に履修登録とPC講座の体験をしてもらうCampus lifeフェスティバルを行いました。履修登録体験では、全体での説明後、架空の授業表と時間割表を用いて、新入生と保護者に履修登録を実際に体験していただきました。実際に体験してもらうことで、入学後の履修登録がイメージしやすくなり、よりよい大学生活のスタートにつながります。 PC講座体験では、新入生と保護者が分かれて、新入生に入学後に行われるPC講座の体験を行いました。一緒に問題に取り組むことで、新入生同士が仲良くなっていました。

POINT.2

丁寧な対応

履修登録体験では、個人で履修を組む時間が20分ほどありましたが、スタッフが会場全体を回って、ひとりひとりに声掛けを行い、新入生と保護者に寄り添っていました。個別に対応することで、新入生にとって難しい履修登録でも最後まで進められています。

企画全体を通して、目線を合わせて真摯に話を聞き、答えました。また、企画のプログラム終了後、自由に質問を受け付けていて、丁寧な対応をしていました。



POINT.3

保護者にも寄り添う



履修登録では、保護者にも体験してもらうことで、子どもがどのような学生生活を送っているか知ってもらうことができます。また、PC・IT活用講座の体験では、新入生だけでなく、見守っている保護者の方に対してもスタッフが積極的に声掛けを行い、疑問や不安の解消に努めていました。保護者の方から、「頼りにしています」という声も聞かれました。また、アンケートでも、「親切な対応だった」という回答がありました。新入生だけでなく、保護者の方にも配慮できている点が良いと思います！